

「早生樹」 植栽試験の実施について

◆目的

資源の循環利用を促進するため、短期間で用材生産が期待できる早生樹を県内3ヶ所に植栽し、本県の気候風土での適応性を調査する。生育状況に関するデータを収集していくほか、通直な材に仕立てるための施業方法についても、検証を進めていく。

◆試験概要

- ・ 植栽箇所：県内3ヶ所（各試験地約250m²、植栽密度3,000本/ha）
- ・ 植栽樹種：センダン・コウヨウザン（各試験地・各樹種30本）
スギ*（各試験地10本） *早生樹種との生育比較対象用
- ・ 植栽予定：11月10日（火） …福井市大年町
11月上旬（調整中） …坂井市竹田・大野市篠座
- ・ 調査項目：
活着率・成長量（樹高、直径）・病虫害発生状況等調査（H27-29）
用材生産を目的とした施業試験（芽かき・枝打ちなど通直な材に仕立てるための施業）（H27-41）

【植栽箇所位置図】



【植栽樹種】



センダン

（落葉広葉樹）

- 家具材・板材として利用。
- 木目が美しく、ケヤキの代替材として利用。



コウヨウザン

（常緑針葉樹）

- 耐虫性（シロアリ）に優れ、海外では建築材などに利用。

